

令和 7 年 9 月 1 2 日

令和 6 年度 特別の教育課程の実施状況等について

さいたま市		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
さいたま市立大宮国際中等教育学校	さいたま市教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の公表 URL
さいたま市立 大宮国際中等教育学校	https://www.ohmiyakokusai-h.city-saitama.ed.jp/education/

※必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
さいたま市立 大宮国際中等教育学校	https://www.ohmiyakokusai-h.city-saitama.ed.jp/introduction/school-assessment/	https://www.ohmiyakokusai-h.city-saitama.ed.jp/introduction/school-assessment/

※必要に応じて行を追加すること。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

⊙計画通り実施できている ・一部、計画通り実施できていない ・ほとんど計画通り実施できていない
--

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

⊙実施している ・実施していない

＜特記事項＞

本校ホームページにて情報提供をしている。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本校では国際的な視野に立って多様性を理解して探究をし続ける「真の学力」の育成を目指している。「美術Ⅰ」においては、授業内の活動と提出課題の言語は全て英語で実施し、幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成できている。「English Inquiry」においては、各教科で学習する内容を英語で学ぶイマージョン教育により、言語の隔たりを越えて様々な課題に取り組む態度を育むことができている。これら特別の教育課程による教科での学習を通じ、生徒は深い知識を習得することに加え、異文化などの世界観を知ることができおり、本校の目指す「真の学力」の育成を実践できている。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

学校評価アンケートの他者との違いを尊重できるという生徒回答が95%を超える肯定的な回答となったことから日常的な学びを英語というコミュニケーションツールを用いて行う機会を多く持つことにより、国際的な視野を持ち、その際多様な文化や価値観に触れることで、他者との違いを尊重できる Global mindset を持った生徒が育成できていることがうかがえる。

4. 課題の改善のための取組の方向性

3に示すような現状を踏まえ、将来、国際社会において、広い視野と柔軟な考え方をもち様々な人々と協調しながらよりよく課題解決を図り、豊かな心とたくましい精神力で主体的に活動する「国際社会をたくましく豊かに生きる生徒の育成」を、さらに確実に実行するため、本特例の改善を図りたい。そのために、外国語の学習における「聞く」「話す」「読む」「書く」4つの技能のバランスよい学びを一層充実させるとともに、その過程で自らの課題解決に粘り強く取り組む経験をさせ、様々なバックグラウンドをもつ人々と円滑にコミュニケーションを図り、協調することができる力を着実に育成する教育を、引き続き推進していく。